

不安感のあるAちゃん

2歳児より入所したAちゃん。初めてのことや、知らない場所に対しては不安な様子を見せ、クラス以外の部屋に入るのを嫌がる姿がある。担任と一緒にいれば、その場にいることができるが、落ち着かない様子を見せる。家庭ではオムツを使用しており、トイレに誘うことはまだしていないが、母親は、そろそろ始めようかな…とは思っている。保育所でトイレに行くことを促してもとても嫌がり、保育士と一緒に連れていくが、なかなか慣れず落ちつかないので、トイレで排泄をしたことはない。毎日の生活の流れは理解していて、言葉がけで行動でき、身のまわりのことはほぼ一人でしようとしている。

友だちには興味・関心を見せ、自分から関わろうという姿があり、簡単な言葉のやりとりをしながら好きな遊びを楽しんでいる。落ちついて遊んでいることも多いが、つま先歩きをしたり、歌を歌う時はじっと立っていることが難しく、飛び跳ねていることも多い。

☆家庭でも、トイレでの排泄を始めようかと思っていることもあり「トイレを嫌がる・怖がる」に印がついているので、この姿からのスモールステップを考えることが大切です。

☆不安要素を取り除いたうえで排泄のステップを踏むための手立てとして、1番慣れている保育室にオマールを用意します。最終的にはトイレで排泄することを目標にするので、オマールを置く場所はトイレの様子が見える場所に、友だちがトイレに行く様子を意識的に見せるようにしましょう。

☆不安(困り)を減らす工夫をすることで、不安が消えてできることが増えるので、その姿を認め共感します。できるだけ決まった保育士が関わり「Aちゃんのそばにはいつも先生がいるよ。だから大丈夫」と、意識した関わりを心がけ、安定した関係を築きましょう。

保育士の気づき(気になる姿)

○初めての集団生活なので、入所当初は不安や緊張も大きいかと思われたが、毎日の生活の流れがわかりスムーズに生活を送れるようになってきて、トイレに行くことは頑なに嫌がる。

○生活と同じようにクラスの様子に慣れてくると、友だちとの関わりも喜んでいるが、集会等で場所を移動したり大きい子が関わろうとしてくれることには緊張し、担任がそばにいても不安な様子を見せる。

○落ちついて遊ぶ姿がある反面、活動によっては集中することが難しいのか、ピョンピョン飛び跳ねたり、つま先立ちで目的なく動く姿も見られる。

保育の中で工夫したこと(手立て)

◇トイレに行く事を重視するのではなく、オマールに座ることに慣れることを目標とし、落ち着ける場所として部屋のすみにおマールを置く。

◇ゆったりと関わり排泄を誘う言葉をかける。

◇オマールに座ることを促した時や、不安を感じる場面や活動は予測されるので、特定の保育士ができるだけそばにいるようにする。

◇集中しにくい姿や、気になる行動が見られる場面や活動を見極め、意識的に好きな遊びに誘う。

こどもの反応・変化

トイレの入り口付近におマールを用意するとすぐに興味を示す。「このオマールでおしっこするんだよ。座ってみようか。」と誘うと「うん。」と嫌がることなく自分で座ることができた。初めておしっこが出たときには「あ〜。」と指さし「おしっこ出たね。」と言うと「でっか〜。」と笑顔を見せる。保育所の生活に慣れ、主に関わる保育士を『自分の先生』とわかっていたように、自分から安心できる保育士のそばに来るようになり、違う場所でも笑顔で参加できることが増えてきた。場面によっては目的なく動く姿はまだ見られるが、友だちとの遊びに誘うと喜んで入ってくる。

	項目	チェック欄
生活面	▪ 生活習慣全般において、積み重ねることが難しい。	
	▪ 好き嫌いが多く、(食べられるものが少ない、食感覚、色が嫌など)	
	▪ トイレを嫌がる、怖がる。	○
	▪ トイレの水や水道の水をよく流す。	
	▪ 気に入った服ばかり着る。	
	▪ ちよつとした汚れが我慢できず、着替える。	
	▪ 布団に入ることには抵抗を示す。(抱かれていないと眠らない)	
	▪ 睡眠のリズムがつきにくい。	
	▪ 汚れた時、ふいてももらったり、洗ってもらったりすることを嫌がる。	
	▪ 抱っこやおんぶで自然に身をゆだねられない。(抱っこを嫌がる)	
運動	▪ ハイハイにならない。(親指でけられない、いつまでもずりばいになる等)	
	▪ かかとをつけずにつま先で歩く。	○
	▪ 歩き方や身体の動きがぎこちない。 (バランスよく動かせない、階段の上り下り等)	
	▪ 両足跳びができない。	
	▪ よく転ぶ。	
	▪ 手先の動きが不器用である。(積み木を積む、絵本のページをめくる等)	
	▪ 粘土やのり等の触感を嫌がる。	
	▪ 音など外からの刺激に対して敏感に反応し、注意が散漫になる。	
	▪ 物を一列に並べたり、積んだりして遊ぶ。	
	▪ 特定のおもちゃで遊び、同じ遊びばかりする。	
遊び	▪ 本来のおもちゃの扱いをしない、遊ばない。(物を何でも回す、並べる等)	
	▪ サインペン、クレパス等でぐるぐる丸を描けない。(筆圧が弱い)	
	▪ ことばや動作のまねをしない。	
	▪ 人より物に興味を示す。(光る物、回る物、鏡等)	

認知・言語面	行動・社会性・コミュニケーション
▪ 物を渡してお願い (例えば、絵本を持ってきて読んでほしいことを示す等) をすることができない。	
▪ 指差しをしない。	
▪ 意味のあることばをしゃべらない。	
▪ エコロリア (オウム返し) がある。	
▪ 場に合わないことばやコマージュのフレーズを言うことが多い。	
▪ ことばが増えず、語彙が少ない。	
▪ 発音が不明瞭で聞き取りにくい。	
▪ 単語が中心で 2~3 語文で話せない。	
▪ 指示の意味がわからない。(ことばの理解が悪いように感じる。)	
▪ 呼びかけに反応しない。	
▪ 視線が合わない。	
▪ 初めのことや、初めての場面を嫌がる。	○
▪ 落ち着きがない。(常に体のどこかが動いている、椅子に座ることが難しい等)	○
▪ 何もなくても、甲高い声や大声を発する。	
▪ 周囲に関心を示さない。	
▪ 表情が乏しい。	
▪ 困った時など、状況にそぐわない言動でその場を逃れる。	
▪ 大人 (母・保育士) への愛着が強すぎる。(弱すぎる)	
▪ 手をつなぐのを嫌がる。	
▪ 特定のものにこだわる。	
▪ 気持ちの切り替えが難しい。(何をしても泣きやまない)	
▪ 友だちへの興味、関心が乏しく、一人遊びの方が多い。	